

# とよおかし 議会だより



第67号

平成30年8月発行



あッ! かえるさんにげちゃうよ~  
としまだ! にゲロ~ゲロ~



小川の生きもの探し(コウノトリの郷公園)

もくじ

6月定例会の報告	2~3
一般質問に18名	4~13
特集! 議会だよりアンケート結果	14~16
意見書・請願・陳情ほか	17
視察報告、9月定例会のお知らせ	18~20
懇談会・意見交換会報告	21
3月定例会の委員会意見と当局回答	22~23
まちのSmile & Genki、編集後記ほか	24

編集 / 議会広報広聴特別委員会 発行 / 豊岡市議会

URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

〒668-8666

豊岡市中央町2-4

TEL 0796-23-1119

FAX 0796-24-8041

E-mail [gikai@city.toyooka.lg.jp](mailto:gikai@city.toyooka.lg.jp)

# 平成30年度 豊岡市一般会計補正予算案 賛成多数で可決

6月定例会市議会を、6月1日から27日まで27日間の会期で開催しました。  
定例会では、一般会計補正予算など市長が提案した26件の議案について、各委員会で審査を行った後、本会議でいずれも原案のとおり承認・可決しました。  
また、意見書3件、決議1件、ならびに請願2件はいずれも可決・採択しましたが、陳情3件のうち2件は不採択、1件は継続審査としました。

## 賛否が分かれた議案

次の議案については、反対、賛成の討論があり、表決の結果、原案可決となりました。

**平成30年度豊岡市一般会計補正予算(一部)**  
**新文化会館整備事業**  
**1083万6千円**

出石文化会館および豊岡市民会館については、老朽度調査の結果、両館とも改修には多額の費用が見込まれる結果となった。これを受け、公共施設再編計画等の方針に基づき、出石文化会館は廃止し、両館のホール機能を統合する形で新たな文化会館を整備するための基本構想・基本計画の策定に取り組みもうとするもの。

にもかかわらず、長寿化には多額の費用が必要とされた。

また、ひぼこホールについては、合併後、修繕もほとんどなされない中で長寿化には建設費並みの費用が必要とされた。

**反対討論(要旨)**  
「ひぼこホールを愛する会」や「女性合唱団カモミール」から提出された陳情に対しての採決も行われていない中、新文化会館整備事業費、1083万6千円を含む補正予算案が提出された。

市民の意見を傾聴し、審議を丁寧に行うことが肝要であり、補正予算の提案を急ぐべきではないと考える。

よって、本案については反対である。  
(党派：共産党あおぞら議員)

**賛成討論(要旨)**  
「老朽度調査の結果、市民会館については、多額の耐震工事とリニューアル費用を費やしてきた

新文化会館整備基本構想・基本計画を策定するための予算を含んだ本案は、適切妥当であり、賛成である。  
(党派：とよおか市民クラブ議員)

### 予算決算委員会の付帯意見

新たな文化会館の整備にあたっては、建設費用や維持運営等にかかる財政負担の軽減を図り、かつ市民生活に広く愛され活用される施設とするため、市民各層・文化団体等の意見も聴取した上で、立地、規模、機能等を十分に検討されたい。

## 意見が分かれた議案の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。

賛成は○、反対は×。棄権、除斥等は「-」。議長は採決に加わらないので「/」で表示しています。

議案名等	新風とよおか							とよおか市民クラブ							ひかり		日本共産党あおぞら豊岡市会議員団		豊岡市議会公明党		豊岡維新の会	審議結果			
	浅田 徹	上田 倫久	岡本 昭治	関貫久仁郎	木谷 敏勝	清水 寛	田中藤一郎	土生田仁志	井垣 文博	伊藤 仁	井上 正治	嶋崎 宏之	椿野 仁司	福田 嗣久	松井 正志	青山 憲司	足田 仁司	西田 真	上田 伴子	奥村 忠俊	村岡 峰男		芦田 竹彦	竹中 理	石津 一美
第64号議案 平成30年度豊岡市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
決議案第1号 2025年国際博覧会の誘致に関する決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
議報第1号 平成29年陳情第5号 ひぼこホール存続検討に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	不採択
「議報第2号 陳情第2号 出石文化会館ひぼこホール使用に関する陳情書」を再付託のうえ閉会中の継続審査とする動議	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決



起立採決のようす

## 可決したその他の議案

**豊岡市国民健康保険税  
条例の一部改正**

**国民健康保険税**

**13・8%減額**

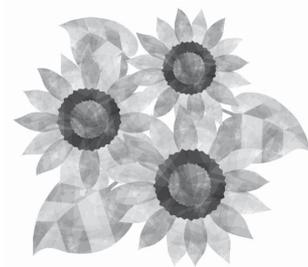
国民健康保険事業は、今年度から県単位で実施されている。県から示された標準保険料率等を参考に税額を算定した結果、財政調整基金を取り崩すことなく、1人当たりの国保税額を対前年度比13・8%減、1万5501円減の9万7043円として税率改正を行うものとするもの。

**工事請負契約の締結**

市立出石総合スポーツセンター1野球場改修工事について、2億563万2千円で(株)山口工務店と請負契約の締結をしようとするもの。

**物件購入契約の締結**

○消防団に配備する消防



5400万1257円で豊岡アールエスエル協同組合に売却しようとするもの。

**平成30年度豊岡市一般  
会計補正予算(一部)**

**定期巡回・随時対応サー  
ビス事業者参入促進事業**

重度者をはじめとする要介護高齢者の在宅生活を24時間支える定期巡回・随時対応サービスに新たに参入する事業者が、円滑に事業所を開設できるよう開設準備にかかる経費に対して補助を行うものとするもの。

**豊岡市役所キャリアデザイ  
ンアクションプランの策定**

市役所における女性活躍にターゲットを絞り、性別にかかわらず能力や個性が十分発揮され、組織で活躍している姿の実現を目指そうとするもの。

**小学校敷地用地取得事業**

公共施設用地として民間、個人から借地してい

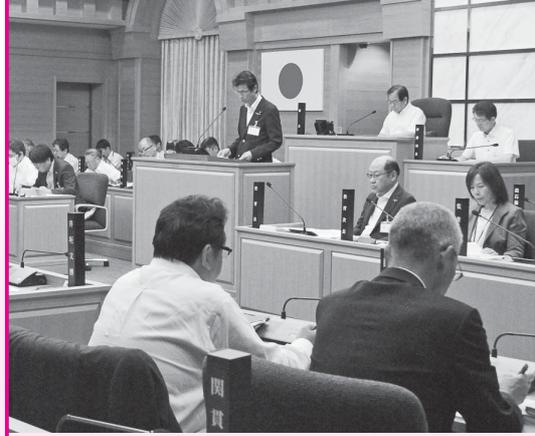
るもののうち、今後も維持すべき施設について借地の購入を検討した結果、面積が広大な小学校用地を買収しようとするもの。

**オトングラス給付事業**

文字を読むことが困難な視覚障害者は、オトングラスを使用することにより郵便物、書類、本、街の看板など、身の回りのさまざまな情報を得ることができるよう。日常生活上の便宜を図り社会参加を促進することを目的に日常生活用具として給付しようとするもの。



音声で文字を読みあげる眼鏡 (オトングラス)



## 6月定例会

# 一般質問

18人

市民の皆さんの身近な問題、市の予算や政策など、さまざま課題について活発な議論を交わしました。

市議会の本会議がインターネットでご覧になれます！



インターネットにより、定例会のようすをライブ中継と録画中継で映像配信しています。ぜひご覧ください。

[豊岡市議会インターネット中継](#)

[検索](#)

### 浅田 徹 (5ページ)

- 減災・防災対策の推進
- 農業振興
- 地域コミュニティの推進
- 新文化会館整備の推進

### 福田 嗣久 (5ページ)

- 新文化会館整備基本構想・基本計画策定
- 高齢者運転免許返納と路線バス料金

### 西田 真 (6ページ)

- 認知症患者の不明時捜索
- 防犯対策
- 住宅耐震化
- 専門職大学誘致
- 消防行政
- 特殊詐欺被害防止対策
- 熱中症対策

### 竹中 理 (6ページ)

- 市長総括説明
- 地域包括ケアシステム
- 生活困窮者の自立支援の強化

### 松井 正志 (7ページ)

- 学校教育
- 地域コミュニティ組織への支援
- 植村直己冒険館

### 足田 仁司 (7ページ)

- ヘイトスピーチ等モニタリング事業
- スポーツ振興

### 上田 倫久 (8ページ)

- 貧困対策（生活困窮者対策）
- 自動運転車両等
- 専門職大学
- 地域防災
- 地域福祉
- 厳しい財政状況

### 清水 寛 (8ページ)

- 市の経済が循環する仕組み
- 地域の支え手を作り増やす取り組み
- 自治会再編

### 奥村 忠俊 (9ページ)

- 豊岡市公共施設再編計画
- 専門職大学
- 有害鳥獣対策
- 市職員

### 岡本 昭治 (9ページ)

- 「特別の教科 道徳」の取り組み
- 新文化会館整備事業

### 上田 伴子 (10ページ)

- 教育環境
- 国民健康保険税
- 介護

### 井垣 文博 (10ページ)

- 健康福祉対策
- 遊休農地対策
- 学校現場の現状と課題

### 土生田 仁志 (11ページ)

- 地方創生
- 人口減少問題
- 生活環境改善
- 敬老会補助金廃止

### 芦田 竹彦 (11ページ)

- 市長総括説明
- 人生100年時代
- こども医療費等

### 青山 憲司 (12ページ)

- 豊岡市ワークイノベーション戦略
- 豊岡市役所キャリアデザインアクションプラン
- 公共施設再編と財政計画

- 専門職大学
- 高規格道路整備と交通安全対策

### 井上 正治 (12ページ)

- 教育環境向上の取り組み
- 市長の総括説明
- 諸課題

### 田中 藤一郎 (13ページ)

- 地方創生
- 人口減少問題
- 文化会館

### 村岡 峰男 (13ページ)

- 国保
- 治水対策
- 日高医療センター
- 樹木管理
- 公共事業と入札
- 住民要望

# 市政を問う



消防団・自主防災組織などによる台風23号メモリアル水防訓練

**問** 円山川堤防の裏のり尻の洗掘・深掘れ対策事業が、赤石・一日市・加陽の3区間でスタートしたが、30年度も計画どおり事業進捗しているのか

**答** 国から無堤防地区の整備を急ぐため、現在のところ裏のり尻の事業は予定していないと伺っている。補正予算の確保など早期に事業進捗を図るよう強く要望していく。

**問** 河川が増水した状況での水防活動は、非常に危険だ。堤防高の測量データをうまく活用して、特化した状況を事前水防に生かせないか

**答** 水防活動は、安全第一と考えている。より効果的な作業を行うため、台風が接近する前にできる方法がないか国交省と調整協議していきたい。また、昨年度の航空レーザ測量の結果、周辺と比べ沈下している箇所に対応についても、引き続き協議していきたい。

**問** 災害時における在宅要介護者の安全避難の対策や支援の仕組みづくりを検討できないか

**答** 要支援者の個別支援計画の作成を推進し、ケアプランを作成するケアマネージャーに対し、災害時の対応項目を設けて、台風接近時に早めのショートステイ利用や安全な親戚の家への避難など具体的な避難行動を事前に考える取り組みの周知徹底を図っていききたい。

**問** 多面的機能支払交付金事業で、幹線の農道に限り、アスファルト舗装ができないか

**答** 地区から舗装したい箇所を挙げていただき、路線ごとに必要性や安全性などを慎重に検討し、可否を判断したい。

**問** 幹線的農道のアスファルト舗装推進



浅田 徹 議員  
(新風とよおか)

## 安全・安心・安定のための 行政施策の推進



福田 嗣久 議員  
(とよおか市民クラブ)

## 財政負担の軽減に つながるか？

### 新文化会館整備基本 構想・基本計画策定

**問** 大事な合併特例債など5・8億円も費やした市民会館の大規模な改修は公共施設の長寿命化の一環ではなかったのか

**答** 耐震とリニューアルの改修のみ行った。長期的観点からのマネジメントに関しての問題意識はなかった。

**問** 市民会館の耐震とリニューアル改修費用は余りにも大きい。20年くらいはスパンでできるだけの財政をきれいにすべきと思うがどうか

**答** 確かに考えてなかった。そのことを反省しなければいけない。私自身県会議員としてあれこれ作ってと言ってきたが、20年後にどういう費用をもたらすのか考えてこなかった。

**問** ひぼこホールと市民会館の除却に概算で12億9千万円必要だが、正管理推進事業債に該当するの除却費

**問** 確かに考えてなかった。そのことを反省しなければいけない。私自身県会議員としてあれこれ作ってと言ってきたが、20年後にどういう費用をもたらすのか考えてこなかった。

**問** 200円バス、ノーマイカーデーの拡大への市のスタンスが後退してきたように思うがどうか

**答** 後退したというよりは、後退したととられるような雰囲気とされる。持続可能な公共交通を目指すということで200円バス、ノーマイカーデーも頭入れながら検討していきたい。

**問** 遠隔地のバス料金の考え方

**答** 既存のものでやり繰りするということや、線路をのびない。規模としてどの程度のものが必要か判断していく。

# 市政を問う



西田 真 議員  
(ひかり)

## 小学校通学路に 防犯カメラの設置を

**問** 最近では子どもたちが重大な被害に遭う事件が多く発生している。防犯カメラの設置は犯罪抑止にもなる。特に小学校の通学路に設置し、安心して通学できる環境を是非とも作っていただきたいがどうか

**答** 通学路についても必要だと感じているが、広い範囲な通学路をカバーするにはかなりの数と費用になる。学校・園の安全確保を最優先に考え、今年度中に全学校・園に設置する。

### 専門職大学誘致

**問** 専門職大学は市民にとっても非常に関心がある。建設候補地、募集人数等タイムスケジュールはどうか

**答** 今後の但馬地域専門職大学設立準備委員会や所管の専門部会において検討が進められ、8月を目途に基本構想をまとめ公表されるものと考えられる。

**問** 平成29年3月の道路交通法改正後に取得した普通免許では3・5トン以上の消防ポンプ自動車の運転はできない。消防庁は、活動に支障が出ることから、新入団員が準中型免許を取得する経費に助成する地方公共団体には、当該助成額について特別交付税措置を講じるとしている。本市としても、助成は若手団員確保の目玉ともなり得ると思うがどうか

**答** これから消防ポンプ自動車を運転できない隊員が増えることが懸念される。その対策として、改正後の普通免許しか持たない新入団員が準中型免許を取得する経費を公費負担する制度を検討し、31年度当初からの施行を目指したい。

### 運転免許取得の助成

**問** 策定内容とSDGsの観点からヒアリング調査の内容と着地点は

**答** 専門家に委託し意向調査や対面聞き取りを開始する。SDGsの観点から踏まえながら女性の置かれていた社会、経済状況を多角的に調査・分析する。

**問** 福祉バンク(元気なお年寄りポイント)がポイント貯める時間貯蓄(制度)の取り組みをどうするか

**答** 西気地区の有償のお助け隊「まごの手」を他の地区にも普及するため市として関わっていききたい。福祉バンクは長期的に管理に課題があると思うが研究していきたい。



竹中 理 議員  
(豊岡市議会公明党)

## キャリアデザイン アクションプランを確実に

**問** あるか

**答** 現時点では考えていない。相談窓口ができればいいとは思いますが、今後連携をきちんと構築し、そこに向かっていきたい。

**問** 専門職大学に留学生をローカル&グローバルに取り組む市として海外留学生の受け入れや他大学との交流を視野に入れるべきでは

**答** 但馬地域専門職大学設置準備委員会の中で当然受け入れるべきという意見がある。具体的には今後検討される。

**問** 生活困窮者自立支援法改正による市の心構えは

**答** 今回の法改正の中で、就労準備支援事業や家計改善支援事業の一体的な実施や、地域社会から孤立していた人などを一定期間の訪問によって見守り支援などを行う居宅支援の強化などが盛り込まれている。子どもの学習支援事業も強化される予定になっている。



犯罪抑止のための防犯カメラ設置例

**問** 日高モデル地区で、ワンストップ窓口の設置による病院と行政の保健、医療、福祉の連携計画は

**答** 生活困窮者自立支援法改正による市の心構えは

**問** 生活困窮者自立支援法改正による市の心構えは

**答** 生活困窮者自立支援法改正による市の心構えは

**問** 生活困窮者自立支援法改正による市の心構えは

**答** 生活困窮者自立支援法改正による市の心構えは



病院内に市役所の保健窓口がある(みつぎ総合病院・尾道市)

# 市政を問う



松井 正志 議員  
(とよおか市民クラブ)

## 冒険館は次の時代へ 何を伝え、どんな役割か

**問** 植村直己冒険館の機能強化では何を指すか、次の時代へ何を伝え、どんな役割を持っているか。冒険館は従来の行政とは違う職場であり、人材についての考えはどうか



植村直己冒険館は冒険学習、冒険教育の拠点に

少しでも負担を無くするよう努力している。

**答** コミュニティ組織がその活動のために他人の土地や建物を借用了した場合、固定資産税の減免対象となるか。コミュニティ組織は公共減免を受ける団体に該当

ツツに過重な負担が発生していることはないか

### コミュニティの負担軽減や市税減免の見直し

**問** コミュニティの活動に意欲的に取り組もうとするあまり、役員やスタッフ

取り組みが地区内に浸透しづらく、使命感と相まって苦勞されていると組織から聞いているので、市民に周知する機会を設けるとともに、組織の人材育成を支援していきたい。地域エリアごとに担当者を決めて、きめ細かな相談に乗れるよう、

市税条例等では、有料の場合を除き、公共的施設が公益の用に供する固定資産を使用する場合は減免すると規定されている。コミュニティ組織は対象団体に該当する。減免の判定にあたっては、組織の活動が減免要件を満たすか否かにより判断することになる。

※PFIとは 民間の持つ経営ノウハウや資金を活用して、公共施設の整備や管理・運営等を行う



足田 仁司 議員  
(ひかり)

## 市の貧困対策は



体を動かして健康寿命を延ばそう

**問** 子どもの貧困対策法施行後の市の取り組みはどうか

**答** 教育・福祉などの支援策を総合的・効果的に推進するため、市内連絡会で情報を共有している。

**問** ワーキングプアの実態は把握しているか

**答** 生活困窮者自立支援法を受け、総合相談・生活支援センターを設置している。切れ目のない学習支援などもある。

### ネットモニタリング

**問** 兵庫県をはじめ、多くの県下自治体に取り組

んでいるこの事業の状況は

**答** 県をはじめ県下では既に10市が実施し、4市1町が実施段階にある。

**問** この事業は小さな予算で取り組み可能と聞いている。市は事業に取り組む考えはあるのか

**答** 県および県下市町の取り組み事例等を参考にしたい。予算も例示いただいたので研究したい。

### スポーツ振興

**問** 練習等で利用する市施設の使用料が高いという声があるがどうか

**答** そのような声は、市には届いていない。

### 自動運転車両の導入

**問** 超高齢社会に備え、自動運転車両導入の考え

**答** 安全・安心な自動運転車両の早期完成に期待している。

※ネットモニタリングとは ネット上の差別的書き込みをチェックする

# 市政を問う



上田 倫久 議員  
(新風とよおか)

## 但馬地域

### 専門職大学の設立



専門職大学など重要なことについて議論する場所

**問** 設立準備委員会の委員はだれか  
**答** 有識者として、平田オリザ氏のほか、地域科学研究会高等教育情報センター 関西圏支部の上野支部長、近畿大学の高橋教授、神戸大学大学院の藤野教授、JTIC・S WISSの山田代表の5

1トセンターの田口館長の2名。行政からは、兵庫県の荒木副知事、南但広域行政事務組合管理者として多次朝来市長、中貝豊岡市長の3名。合計13名だが、但馬3市2町の担当課長がオブザーバーとして参画する。

**問** 文化、観光部門の進捗状況はどうか  
**答** 文化については、基本的にはパフォーミング・アーツ、演劇とダンスを中心としたコースで観光との親和性が非常に高いといわれている。観光を文化でブラッシュアップする、今ある観光のさまざまな資源を、さらに文化的な要素を加えるという形でレベルを上げていく、親和性というものの議論がなされている。

名。産業界からは、株式会社マツクアースの一ノ本代表取締役、但馬地域商工会振興協議会の奥藤会長、株式会社西村屋の西村社長の3名。教育・文化からは、県立豊岡高等学校の今井校長、城崎国際ア

**問** スケジュールと規模はどうか  
**答** 2021年4月の開学を目指して検討が進められている。2019年10月に設置認可申請を行い、2020年8月の設置認可を受ける必要がある。設立準備委員会や所管の専門部会において規模など具体的な内容が検討される。



清水 寛 議員  
(新風とよおか)

## ピンチはチャンス! 常識や発想の転換を

### 社会問題の解決法

**問** 問題を発展的に解決し、市の経済が循環する仕組みとして、積極的に市内事業者や地域資源を活用しては

**答** 論理的、部局横断的な政策推進のため、成果重視・戦略思考へ転換し、市民と行政の協働による課題解決などを目的とし、26年度から戦略的政策評価に取り組んでいる。今年度設置した戦略的政策室は、客観的なデータ分析で政策課題に取り組み、部署を越えた多面的な取り組みで、問題解決を進めている。地域資源の活用では、半径20kmの経済圏強化を図るとしている。

うことからスタートする。豊岡は若い女性に選ばれていないことが人口減少の最大の要因であり、人手不足対策に残されている可能性はシニアと家庭にいる女性たち。切羽詰まった状況をまず意識しても、らう努力が必要。同時に「多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまち」と市の理念を示し、具体的な事例を繰り返して意識を変えていきたい。



里山は待たなしのピンチ。いまこそ目を向けないと

### 女性活躍社会の先

**問** 地域の支え手を作り増やす取り組みはどうか  
**答** 女性活躍社会に向け、問題意識を共有してもら

**問** 社会全体が活躍する場となるには弱者にこそ活躍の場が必要では  
**答** 障害のある方が組織におられることが組織の

### 新たな枠組みづくり

**問** 自治会へ支援しては  
**答** 現時点では考えていない。

問題意識を共有してもら

問題意識を共有してもら

# 市政を問う



ひぼこホールでの最後の「女性合唱団カモミール」演奏会



奥村 忠俊 議員  
(日本共産党・あおぞら  
豊岡市会議員団)

## 地域に根付いた音楽を 楽しむ場所を確保して

**問** 市民会館・ひぼこホールのある方について、事を始める前になぜ市民に直接説明しないのか

**答** ホールだけの説明会はしない。今後10年間に多くの施設をどうしてい

くのか考えてもらおうような説明会、意見交換会をしたい。

**問** 市長は、「ひぼこホールを愛する会」との話合いの中で、「建設した当時出石町の財政規模は50億円。この規模で20億円ものホールを建てているのは考えられない」と発言している。合併を前提にした施設ではなく、町民のために建てたものだ。市長は言い過ぎではないか

**答** 今の市財政は500億円。200億円のホールを建てるのと同じ勘定。過去の事は言うなと言われれば口を慎む。

**問** 市長は、ひぼこホールに代るものとして出石の庁舎に併設の、市民ホールを検討する旨の発言があったが、この活用は難しいと思う。一方「ひぼこ

ホール」の北側に多目的ホールがある。これは数年前に農村環境改善センターの撤去に合わせ改修しているがこの整備を検討してはどうか

**答** 専門家に見ていただいたが、音響が最悪であり、改修には建て替えるほどの費用がかかる。ホールは都市機能だ。車でしか行けない場所は適切でないと考える。

## 捕獲した鹿の状況と活用

**問** 4年連続で6500頭以上の捕獲だ。被害状況と推定生息数は

**答** 農業被害は面積で10・2%減少。4年で2万7千頭を捕獲しており、生息数は39%減、およそ1万4300頭。鹿の活用は個体の8%程度あとは廃棄処分。民間で取り組む場合は支援していく。

**問** 家庭や地域で生活する人々が、小学校でどのような道徳教育が行われているのかを理解し、子どもたちと共に教育内容を共有することが大切と考えらるがどうか

**答** 家庭や地域の方々に



岡本 昭治 議員  
(新風とよおか)

## 100年の計・道徳教育 と新文化会館整備

**問** 新たに道徳教育が、「特別の教科 道徳」として開始される理由はどこにあるのか

**答** 一つは、教育現場において道徳教育そのものが、少し離れたところに遠ざけられていたことと、もう一つは、国語とあまり変わらない道徳の授業が行われていたことや、学年が上がるにつれて道徳の授業をしても、自分にとってためにならないと思う傾向があり、この二つの問題を解決しなくてはならない。

**問** 家庭や地域で生活する人々が、小学校でどのような道徳教育が行われているのかを理解し、子どもたちと共に教育内容を共有することが大切と考えらるがどうか

**答** 家庭や地域の方々に

**問** 家庭や地域で生活する人々が、小学校でどのような道徳教育が行われているのかを理解し、子どもたちと共に教育内容を共有することが大切と考えらるがどうか

道徳教育について理解していただくことは、大切なことだと感じている。方策として、学校便りやホームページでの周知、オープンスクールを活用した授業参観で実施している。

**問** 基本構想を策定する委員会は別に、多くの市民の意見や要望を聞くことが必要と考えるが

**答** 基本構想・基本計画を策定する支援事業者も決まり策定委員会が設置されたあと、市民の意見を聞くことを検討する必要があると

**問** 家庭や地域の方々に



6年生の道徳教育で使用されている教材の一部

# 市政を問う



上田 伴子 議員  
(日本共産党・おおぞら  
豊岡市議員団)

## 教育環境の

## 行き届いた整備を！

**問** 就学援助について17年度より文部科学省の就学援助施行令の中、民生委員の助言を求めることができるといふ文言が削除されたが、本市がまだ、助言を求めている理由は何か

**答** 就学援助の申請書類だけでは不明な生活状況を把握するために民生委員の助言をいただいているが、利用者の声を聞き、今後の検討課題としていきたい。

**問** 教育施設におけるAED

**答** ED設置について、多くの命を預かる施設での設置は当然だと考えるが、どのような基準で設置されているのか

**答** 小・中学校、独立幼稚園、保育所、認定こども園、計51学校・園に各1台のAEDをリース契約により設置している。

**問** 放課後児童クラブは設置されていない。特に、学校から離れた場所にある独立した施設では、ぜひ、即刻配置していただきたいがどうか

**答** 今後、検討する。

**問** 在宅介護の現状と支援

**答** 毎日新聞が行った在宅介護者へのアンケートでは約7割の在宅介護者が精神的、肉体的に限界を感じていると答えている。本市でも在宅介護実態調査で、介護者は70・5%が女性、25・6%が70歳以上である。高齢の女性が在宅介護を担っている。見解を聞く

**問** 介護が必要な方は、在宅で介護を希望する方が多いので、しっかりと対応していけるように定期巡回や小規模多機能の居宅介護事業所、特定施設等の整備を進めていきたい。

**問** 施設入所を希望する時、居住地に近い施設を希望するが現状はどうか

**答** 施設入所の判定項目には居住地が近いかどうかという判定基準はない。

**問** 遊休農地の現状と課題そして対策はどうか

**答** 遊休農地の増加のペースに解消が追い付いていない。その原因は農業従事者の高齢化、後継者不足、米価の下落、鳥獣被害などがある。農地は農業、農村の有する多面的機能を維持するため必要だ。今後は周辺の集落も含めた地域全体で遊休農地の発生防止、解消に取り組み必要がある。

**問** 歩いて暮らすまちづくりの成果はどうか

**答** 全ての市民に定着しているわけではない。より市民参加が得られるよう取り組みを進める。障害者への対策は今後の課題としたい。医療費を抑える効果もあり、科学的調査に基づき取り組む。

**問** 健康面や生活への不安を抱える高齢者へ、声掛けや専門的な指導をするコミュニティナースを

**答** 地域おこし協力隊として導入し、またそのナースが訪問看護ステーションの活動をするということについてどう考えるか

**答** 要望は聞いていないが、看護資格のあるコミュニティナースが身近な方々の相談に乗ることとは非常に望ましい姿である。

**問** 小中一貫教育この一年の評価・課題を聞く

**答** 子どもにとって高評価の学習であった。小規模校については教育効果が得られにくいという課題を実感している。

**問** 学校現場での長時間業務をどのように認識し

**答** 対策を講じるのか

**答** 教職員の心身が健康で、時間的、精神的にゆとりがなければ教育の質の確保、向上は困難だ。教職員の意識改革をはじめとする学校での取り組み、それを支える行政の取り組み、地域や保護者の理解、これらを一体的に取り組み必要がある。



放課後児童クラブにもAEDの設置を！



井垣 文博 議員  
(とよおか市民クラブ)

## 遊休農地対策は地域 づくりの総合対策で！

**問** 遊休農地の現状と課題そして対策はどうか

**答** 遊休農地の増加のペースに解消が追い付いていない。その原因は農業従事者の高齢化、後継者不足、米価の下落、鳥獣被害などがある。農地は農業、農村の有する多面的機能を維持するため必要だ。今後は周辺の集落も含めた地域全体で遊休農地の発生防止、解消に取り組み必要がある。

**問** 歩いて暮らすまちづくりの成果はどうか

**答** 全ての市民に定着しているわけではない。より市民参加が得られるよう取り組みを進める。障害者への対策は今後の課題としたい。医療費を抑える効果もあり、科学的調査に基づき取り組む。

**問** 健康面や生活への不安を抱える高齢者へ、声掛けや専門的な指導をするコミュニティナースを

**答** 地域おこし協力隊として導入し、またそのナースが訪問看護ステーションの活動をするということについてどう考えるか

**答** 要望は聞いていないが、看護資格のあるコミュニティナースが身近な方々の相談に乗ることとは非常に望ましい姿である。

**問** 小中一貫教育この一年の評価・課題を聞く

**答** 子どもにとって高評価の学習であった。小規模校については教育効果が得られにくいという課題を実感している。

**問** 学校現場での長時間業務をどのように認識し

**答** 対策を講じるのか

**答** 教職員の心身が健康で、時間的、精神的にゆとりがなければ教育の質の確保、向上は困難だ。教職員の意識改革をはじめとする学校での取り組み、それを支える行政の取り組み、地域や保護者の理解、これらを一体的に取り組み必要がある。



耕作放棄地が地域の活力を奪う

# 市政を問う



土生田仁志 議員  
(新風とよおか)

## 好きな豊岡に長い間 住めるようになる！

### 在日技能実習生を 通訳に

**問** 東南アジアからの旅行者へ言葉の解決策として、彼らをインバウンド客の有力な誘客情報とし、彼らにガイド力を身に付けてもらう必要があるのでは

### 若年層の低い投票率 を平均までUPを

**問** 市の未来像構築へつなぐため、投票率の低い若年層の投票率UPを実現することが必要と考えるがどうか

**答** 投票という行為は、市を良くするための行動であり、行政並びに政治

に参加するという大変重要な手段である。選挙管理委員会では、①高校生・大学生への、より一層の啓発 ②出前講座の実施内容の見直し ③若手社会人に対する啓発 ④滞在地での不在者投票制度の周知、この4点を重点事項としており積極的に推進していきたい。

**問** 高齢者のクリーン作戦  
道路を横断している地下埋設型水路、暗渠の清掃は近隣住民の高齢化で非常に危険が伴っているが



高くて、怖いところは、掃除ができんわ

**答** 水路、側溝、暗渠などの清掃については、クリーン作戦などで協力いただいている。地元での対応が難しいという箇所については現場を見て考えていく。



芦田 竹彦 議員  
(豊岡市議会公明党)

## 人生100年時代を 見据えて

**問** 長寿化に伴う社会モデルの変化に対する行政のあり方は

**答** 今後、さらに少子高齢化が進むことが見込まれる中、高齢期になっても元気なうちは就労、ボランティア活動、趣味などの生きがい活動や社会参加を行うとともに、介護予防を行って、健康寿命を延ばすことが重要だと考えている。

**問** 健康施策について、特定健診の受診率向上への取り組みとがん検診についてはどうか

**答** 市が実施している集団健診、すこやか市民健診では、特定健診とがん検診を同時に受診できるように促している。また、がん検診では、特定の年齢に達した方を対象に、がん検診の無料クーポンを送付し、受診率の向上を図っている。特定健診

標に、受診勧奨をさらに進めていきたい。

**問** がん患者や障害のある方の就労支援・生活支援について、課題認識とネットワークの必要性は

**答** がん患者の方が抱えておられるさまざまな課題に対応するためには、ネットワーク化は必要であると認識している。

地域包括支援センターや障害者基幹相談センターは、ワンストップで相談できる体制にしている。当事者のニーズや課題に応じて、包括的なネットワークを組んで自立支援を行っている。



人生100年時代の長寿化社会

**問** 生涯学習の目的と意義についてはどうか

**答** リカレント教育は大変重要だと思う。そのような体制整備が必要なのと考えている。

**問** 乳幼児を含むこども医療費の無料化は

**答** 平成28年7月から現制度に移行している。現時点で、無料化は考えていない。

# 市政を問う



青山 憲司 議員  
(ひかり)

## 交通安全対策の 充実を求める

**問** 高規格道路整備の進捗状況は

**答** 北近畿豊岡自動車道は、日高神鍋高原インターから仮称豊岡南インターまでの6・1km区間でトンネル4本のうち2本が貫通、橋梁9橋のうち8橋が工事中。仮称豊岡南インターから仮称豊岡インターまでの2km区間は、今年度から工事着手される予定。

**問** 豊岡病院下の交差点における通勤時間帯の安全対策はどうか

**答** 戸辺羅トンネルを抜けて病院側の渋滞を確認はしているが、現在のところ改良計画はない。

**問** 多くの園児、児童や生徒が通う国道426号の通学路の安全対策はどうか

**答** 税務署付近の約130m区間で歩道整備が計画されており、昨年度に地元説明や用地測量等を

行い、今後、用地買収を進める予定と聞いている。交通安全対策と防犯活動を一体的に推進したいと考えている。

**問** 高齢者の自動車専用道路における逆走などの事故防止策は

**答** 高齢者に対する交通安全教育推進の観点から暮らしの安全・安心講座等の機会を活用するなど

**問** 片側1車線となる北近畿豊岡自動車道や、山陰近畿自動車道でのあおり運転等による事故の防止策はどうか

**答** あおり運転は、その悪質性、危険性、迷惑性は高く、兵庫県警も取り締まりを強化している。道路交通秩序維持の観点から警察に対して徹底した取り締まりを求めている。

**問** 追い越し車線とは別に車両待避所の設置が必要ではないか

**答** 道路構造令に基づき一定の距離区間で整備される予定となっている。

通勤時間帯の病院下交差点の状況



井上 正治 議員  
(とよおか市民クラブ)

## 教育環境向上と 専門職大学

**問** 学校施設整備計画と現状をふまえて、小規模校に対する統廃合等を含め将来の展望はどうか

**答** 標準学級数や編制基準など、児童生徒数だけを根拠とする統廃合は、教育環境を保障する観点から望ましいとは言えない。デメリットを補完する小小連携の取り組みはまだ課題がある。今後のあり方は、学校統廃合を視野に入れ、検討を始める時期との認識を持っている。

**問** 教育の中心課題である不登校、学力、特別支援が必要な子どもたちのニーズへの対応はどうか

**答** 不登校は、研修会、外部講師による講義、協議を通しチームによる不登校対策に取り組む。学力は、がんばりタイムの設定、授業改善に取り組む。特別支援が必要な子ども

**問** 中学校の小規模校に対する音楽、美術、技術家庭の教員の配置はどうか

**答** 加配はつかない。市内6校で免許外申請をしている。但馬全体の課題として県に強く訴えていく。についても配慮をしながら協議を進めていく。

**問** 専門職大学の誘致に伴う市の財政負担はどうか

**答** 土地、補助金等、他の誘致例にそのままらう必要はなく、人口減少対策、若者獲得、地域の魅力の向上等、市が受けるメリットをにらみなが

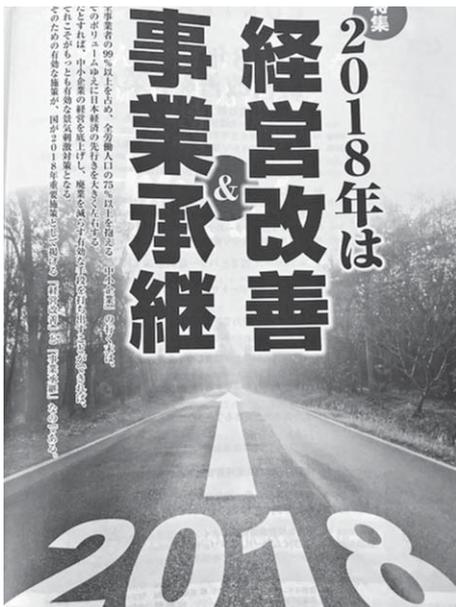
もたちは、こども支援センターとの連携、研修会、各校の授業のユニバーサルデザイン化に取り組む。



1学年1クラスの日高西中学校

# 市政を問う

※ファーストデスティネーションとは 最初の旅行目的地



戦略経営者2018年1月号から転載

**問** 観光ビジョン策定は、ここ数年に観光の状況が劇的に変わり時代に合った戦略策定が必要になったものと考えているがどうか

**答** 本市の観光全体について基本的な理念や取り組みの方向性を示すものがなかったため、激しい変化を踏まえて新しい観光を含めたビジョンを策定する。

**問** 大阪観光は劇的に変わっており、市の観光戦略としてもっと積極的に行動しなければと考える。

**答** 大阪観光は劇的に変わっており、市の観光戦略としてもっと積極的に行動しなければと考える。観光は劇的に変わっており、市の観光戦略としてもっと積極的に行動しなければと考える。



田中藤一郎 議員 (新風とよおか)

## 「大廃業時代」 これからが本番です！

いく。

**問** 事業承継問題は人口減少、地域経済問題として切っても切れない大きな問題と考えるが、事業承継問題をどのように考えているか

**答** 個々の事業者の継続や廃業に関して市が立ち入ることは難しいが、金融機関等と連携し引き続き支援する。

**問** 2025年には650万人の雇用、22兆円のGDPが失われる中で、地域経済を守る戦略を必死に考えているべきではないか

**答** 地域経済にとっても事業承継問題は大きな課題と捉えている。さまざまな取り組みの中で、事業承継されることについて国の動きを見ながら創業支援ネットワークの中でも研究していく。



村岡 峰男 議員 (日本共産党・あおぞら豊岡市会議員団)

## 国保税の引き下げは、 1年限りにするな

**問** 30年度から国保は県単位化となり、国保税がどう変わるのか危惧する中での条例改正となった。国の財政支援、保険財政共同安定化事業の廃止、前年度繰越金の半額の活用で一人当たり13・8%減、1万5501円の引き下げとなった。ほっとした気分だ。国の激変緩和の支援は、国民と地方自治体のたたかいで実現したが、7年だけという7年後には大幅な引き上げとなることは明らかだ。前年度繰越金は28年・29年度に国保税を多くもらいすぎた結果ではないのか。繰越金が出れば税の引き上げを抑えるため繰り入れるのは当然のことだ。県単位化の評価は

**答** 当初、保険料が県下で統一されるということであったが、健康政策を頑張り医療費を抑制したまちはは保険料を低く

いう仕組みを県が採用したことは評価したい。この仕組み自体は未来永劫続けられるべきだ。基金があるということはありがたいことだ。税が下がっているときに基金を使うことは基金の趣旨に合わない。合わないどころか有害である。

**問** 枯れ枝落下による事故防止策を求める

**答** 「枯れた木の枝が落ち、車や民家に被害が生じた。」と市に補償を求められた事例が8件ある。民有地の場合はその程度掌握しているか



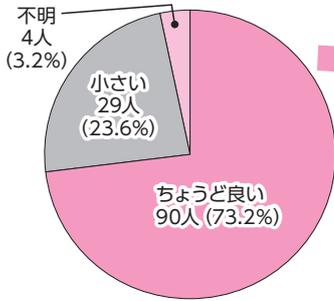
危険です！ 市道をおおう樹木

# 「市政を問う (代表質問・一般質問)」 その後の経過も関心が高い

を今後の広報紙づくりに生かすため、読者アンケートを実施しました。

## Q3

### 紙面の文字の大きさは？



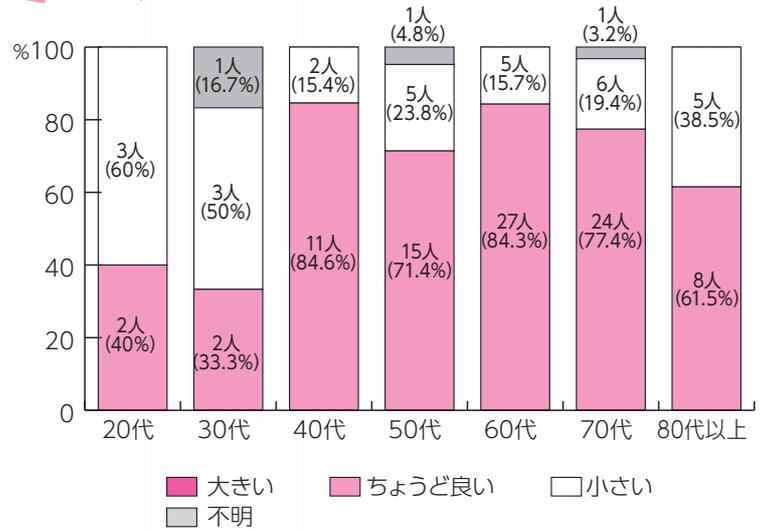
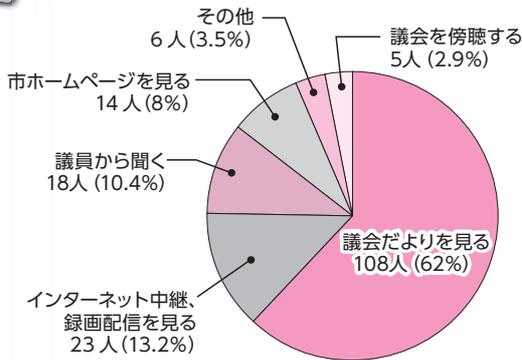
もう少し

詳しく分析すると…

ほぼ4分の3の方がちょうど良いと回答。しかし、20代、30代で小さいと回答された方の割合が高くなっています。

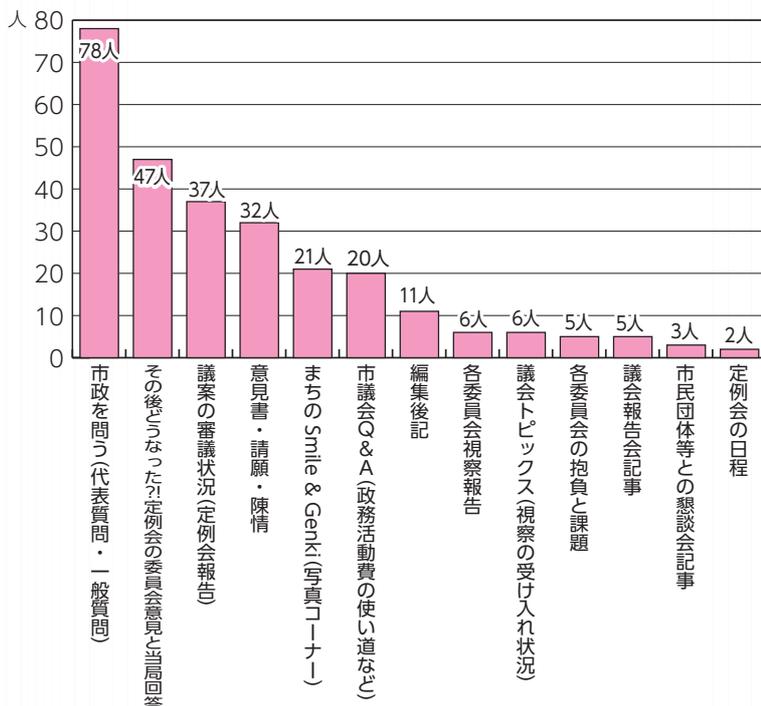
## Q4

### 市議会のことをどのような方法で知りますか？ (複数回答可)



## Q5

### よく読んでいる記事はどれですか？ (3つまで回答可)



## Q6

### 今後、「議会だより」で取り上げてほしい内容は何か？

- ・各議員の日頃の活動状況や議会閉会時の議員活動
- ・議員の一日または一月の活動スケジュール
- ・各会派の活動状況や政務活動費の使い道など
- ・議会改革の取組状況
- ・意見書、請願、陳情の審査の経過、継続審査の意見や賛否の主旨など
- ・代表質問、一般質問の内容を詳しく
- ・問いに対して答えがあいまいなのでもっと詳しく
- ・議員提案等、積極的に市政に関わる姿

※市の事務事業への要望や指摘事項(教育、芸術文化、雇用、空き家、過疎化、コバス、水道、バス路線、未来ビジョン、福祉、防災、ごみ回収、地域コミュニティなど)は市の担当部局へお伝えします。

# 特集

## 議会だより

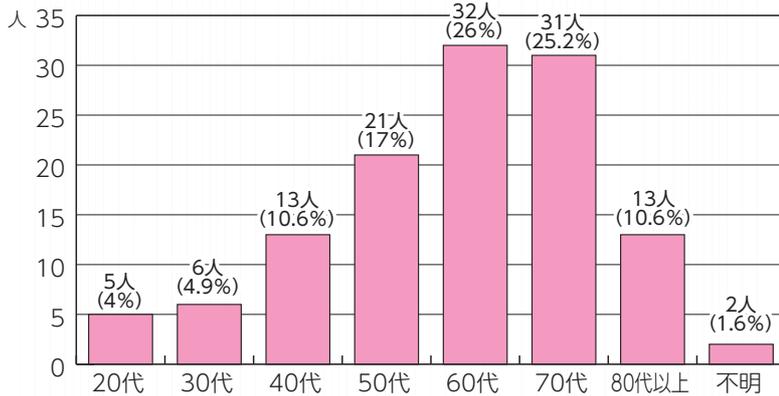
### アンケート結果

# よく読まれている記事は、 議案の審議状況や

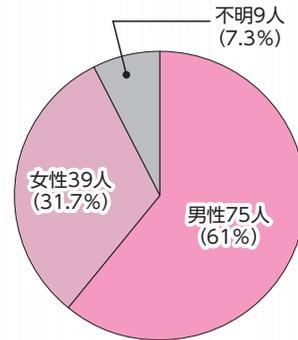
読みやすく、親しみやすい紙面づくりを目指しており、市民のみなさんのご意見ご協力いただきましたみなさん、ありがとうございました。

- アンケートの実施方法
- 「議会だより」5月号にハガキ形式のアンケート用紙を載せて全戸配布
  - 5月25日～6月20日の間に、郵送により回答
  - 回答者数 123人

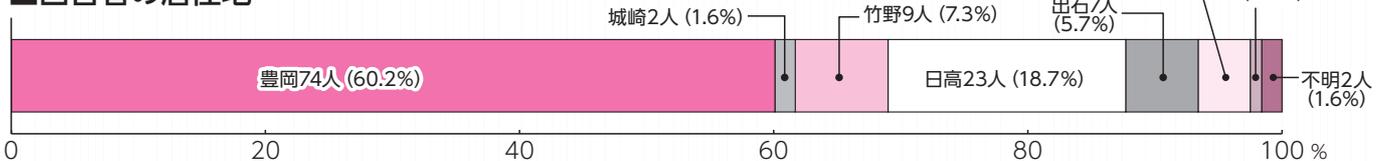
#### ■回答者の年齢



#### ■回答者の性別

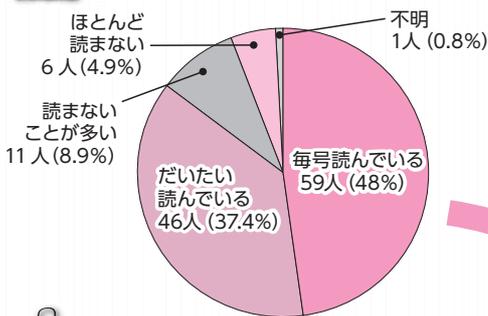


#### ■回答者の居住地



#### Q1

### 「議会だより」を 読んでいますか？



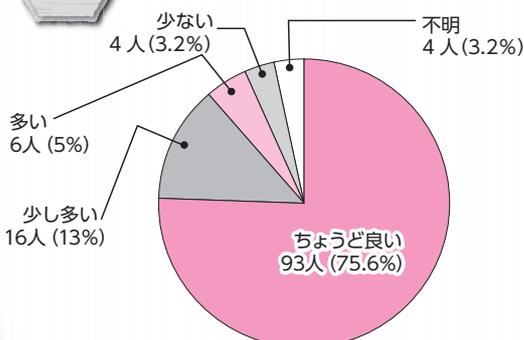
#### もう少し詳しく分析すると…

ほぼ半数の方が毎号読んでいると回答されています。20代、30代、40代では毎号読んでいる方の割合は20～30%。年齢が上がるに連れてその割合が高くなっており、70代では54.8%、80代では84.6%となっています。

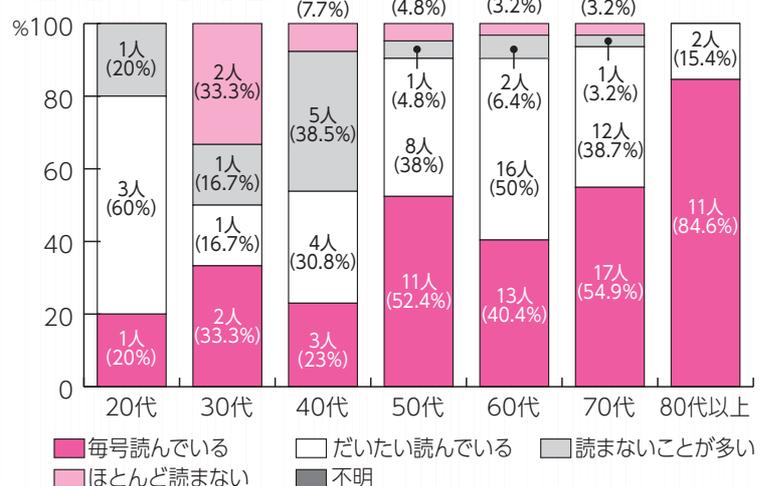


#### Q2

### 広報紙のページ数は？



#### ■年齢別に見た割合



# 特集 議会だより アンケート結果

アンケートに、市民のみなさんから「議会だより」に対する自由なご意見・ご感想を書いていただく欄を設けました。

アンケートにご回答いただいた方は123人、そのうちこのご意見・ご感想欄に記入された方は38人(31%)でした。



## 「議会だより」に対するご意見やご感想

### 読みやすさなど評価も いただいています

- ・議会の活動がわかりやすくなった。今後も、編集の充実を。
- ・インパクトがあって、写真構成がよい。次回が待ち遠しい。
- ・全体を通して読みやすさを感じる。表紙の写真がインパクトがあり、毎号楽しみにしている。
- ・写真やイラストなどでわかりやすくなった。私たちのくらしと健康のために頑張っている議員の奮闘を。
- ・旧豊岡市に比べ、質量ともに格段の前進である。議員自らの編集であれば賞賛に値する。写真の編集、掲載は一考願いたい、反省、改善を志向されており、評価したい。

### 内容についてご提言もありました

- ・議員に親しみが持てるよう趣味、好きな食べ物、愛読書、小さい頃なりたかった職業、座右の銘等を載せてほしい。
- ・市民（読者）の声の欄を作ればよい。内容に新鮮味が出ると思う。
- ・市政、市長が実施した良い点・活動も取り上げてほしい。

### 議会や議員活動への期待、苦情もありました

- ・市民の代表として、活発な活動を期待している。
- ・各方面に向いて各戸各人の意見を聞くことが全くない。情けない。
- ・議員はもっと地元住民とふれ合うべき、その声を吸い上げ論議すべき。
- ・市民のための議員活動ができていない。市民のための運動をすべき。
- ・市政を市民本位のものに。議会制民主主義は数の力かもしれないが、議員個人の力がまずはじめ。
- ・一人一人の議員が何をしているのかわかる。人のため世のために市民のためにがんばってほしい。期待している。
- ・大開通りでは人の往来が見られず、さびしさを感じる。議会における取り組みなどを示してほしい。
- ・地方議会は市長のチェック機関をしている。議員による市長への叱責は多くの市民の声を代弁するものであり、拍手を送る。

### 紙面の内容できびしいご指摘を いただきました

- ・問いよりも答えを詳しく、議員の質問主旨は表題で分かる。質問者一覧は不要。
- ・内容の充実を。広く浅くではなく、これからの時代を担う若者とが豊岡を語り合えるような場を。
- ・茶席の写真は議会広報で取り上げるものか。市広報ですべき内容では。
- ・少しかたぐるしいので、もう少しソフトな表現を。
- ・まちのSmile&Genkiは市広報と重なり、不要。
- ・写真が多く、大きすぎないか。まちのSmile&Genkiは必要か。議会だよりは粛々と議会の状況を伝えることが本旨のはず。
- ・広報、議会だよりの紙質が上等過ぎる。経費節減の意識が感じられない。
- ・「議会だより」の紙はもっと薄くてもよい。経費のムダ。

※アンケートの対象となった5月号は、最終ページにアンケートハガキを印刷したため、表紙と最終ページは他のページに比べて厚紙を使用しています。

### こんな感想もありました

- ・議会のことは、議会だよりで学んでいる。
- ・大きな字の部分だけ目を通す。穏やかな豊岡市でありますように。
- ・難しい話のあとに編集後記を読むとホッとするとともに編集のご苦労が見えてくる。とても楽しみにしている。一般の住民にわかりやすく問いかけてもらっているようだ。身近に感じる写真がうれしい。
- ・議会だよりは、すべて読んでいる。毎号楽しみながら、現況を知ろうとしている。傍聴に行けないので、充実した議会だよりを頼みます。
- ・毎度詳細な議会の様子を読ませていただいている。
- ・毎号楽しみにして読んでいます。

紙面の都合上、ご意見・ご感想を要約しています。ご了承ください。

# 意見書・決議・陳情・請願

## 意見書

但馬地域県立高校の生徒募集見直しに関する意見書 **審議結果 全会一致で可決**

**意見書の旨**  
但馬地域の県立高校全日制普通科は、中学校卒業者数をもとに南但・北但の学級数で調整されていると推察される。教育の質の保持、人材の育成という視点で、特色ある市内の普通科2校の学級数、教員数は現状を維持すべきである。

①高等教育機関への進学を望む子どもたちの割合は増えており、市内普通科高校の入学定員、教員数、学級数は減らさないこと。  
②生徒がどういった学校に行きたいか十分に考慮すること。  
③地域における高校の存在意義を十分に考慮し、生徒にとって特色と魅力ある高校のあり方を検討すること。

**義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書**  
**審議結果 全会一致で可決**

**意見書の旨**  
教育の機会均等と義務教育水準の維持向上は国の責務である。義務教育費国庫負担割合が2分の1から3分の1に縮小され、地方交付税に依存する割合が高まった。教育水準の確保や地方財政を圧迫させないためには、国庫負担金を削減すべきでない。

①義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

子どもたちと向き合う時間の確保に関する意見書 **審議結果 全会一致で可決**

**意見書の旨**  
子どもたちに豊かな教育を保障することは、きわめて重要であり、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠である。教職員の長時間労働は正に喫緊の課題であり、そのために教職員定数改善は欠かせない。

①子どもたちと向き合う時間の確保をはかり、少人数学級を推進すること。  
②教育予算充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

## 決議

2025年国際博覧会の誘致に関する決議 **審議結果 賛成多数で可決**

**決議の旨**  
「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする国際博覧会は、新たな産業や観光のイノベーションなどの経済効果など、極めて大きな意義がある。豊岡市議会は、国際博覧会の開催を支持するとともに、誘致実現に向けた国内機運の醸成など、国や大阪府市などと共に必要な取り組みを積極的に推進する。

## 本会議での採決

提案に対し、会派「日本共産党・おおぞら豊岡市会議員団」議員より反対討論が、会派「新風とよおか」議員より賛成討論が行われた。起立採決の結果、賛成多数により可決された。

## 陳情

平成29年陳情第5号 ひぼこホール存続検討に関する陳情書 **審議結果 不採択**

**提出者** ひぼこホールを愛する会

代表 坪井 豊志ほか3名

**委員長報告の要旨**  
「専門家の協力を得る、対話を図るなどの陳情趣旨は概ね達成された。ひぼこホール、市民会館の改修には多額の費用が見込まれ、両館の機能を統合する形で新文化会館を計画する以外に方法がない」、「市民の意見を聴くことなく一方的に廃止の方向が示された。対話の推進を図り、当分の間使用を求める陳情は採択すべきだ」などの意見が出され、賛成少数により不採択と決定した。

## 本会議での採決

委員長報告に対し、会派「日本共産党・おおぞら豊岡市会議員団」議員より反対討論が、会派「とよおか市民クラブ」議員より賛成討論が行われた。起立採決の結果、賛成多数により委員長報告のとおり不採択となった。

**陳情第2号 出石文化会館ひぼこホール使用に関する陳情書**  
**審議結果 委員会が採択 本会議では継続審査**

**提出者** 女性合唱団力モミール

代表 小西 洋子

**委員長報告の要旨**  
「利用者への安全を確保できない状況の中、使用を続けることは困難である」、「最低限の安全対策に配慮しながら、継続使用される

ことが望ましい」などの意見が出され、賛成多数により採択と決定した。

## 本会議での採決

委員長報告に対し、会派「豊岡市議会公明党」議員より継続審査を求める動議が提出され、会派「日本共産党・おおぞら豊岡市会議員団」議員の反対討論の後、起立採決の結果、賛成多数により継続審査と決定した。

**陳情第3号 宅地開発に関する陳情書**  
**審議結果 不採択**

**提出者** 豊岡市下陰586

下陰区長 西村 充春

**委員長報告の要旨**  
「地区住民の心情は十分理解できているが、宅地開発の許可は条例に基づいて行うものであり、申請手続きが適正であれば不許可にすることは困難である」との意見が出るなど慎重に審議した結果、全会一致で不採択とした。なお、住民の陳情を市として真摯に受け止め、現地の地理的状況を確認、把握した上で、適正に処理する必要がある旨の意見及び要望を付けた。

## 請願

**請願第1号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する件**  
**審議結果 みなし採択**

**提出者** 豊岡市教職員組合

執行委員長 藤本 丈永

**請願第2号 子どもたちと向き合う時間の確保に関する件**  
**審議結果 みなし採択**

**提出者** 豊岡市教職員組合

執行委員長 藤本 丈永

## 総務委員会(5月7日～9日)

### 市民や職員の痛みを伴う

### 財政再建プランの推進(北海道小樽市)

急激な人口減少、歳入歳出の不均衡などから財政悪化を招いた。職員数抑制、給与報酬の削減、事務事業の見直し、受益者負担の引き上げなどの財政健全化に取り組んだ。

### 協働によりまちのブランド力を生かした移住推進(北海道小樽市)

民間団体と行政との協働により、厳しい財政状況下ではあったが、早い時期から、体験メニューのデータベース化やちよっと暮らし施設の利用、大都市圏プロモーション活動などを展開してきた。

### まちなか再生プロジェクトによる賑わいづくり(北海道苫小牧市)

大規模集客施設が郊外へ立地したこと、まちなかの居住人口が急激に減少したことなどから、中心市街地がさびれ、閉鎖された大型商業施設や老朽化したバスターミナルが駅周辺に今なお残る。

駅に交流拠点施設を設置し、市民のアイデアによるメニュー開発などを進め介護施設や憩いの場を併設するなど、まちづくりに若者の参画を促し、まちなかの賑わいの創出に成功しつつある。



J R 苫小牧駅の交流拠点施設「ココトマ」

## 文教民生委員会(5月17日～19日)

### 若者支援総合センター(北海道札幌市)

22年度に社会的セーフティネット、若者同士の交流、社会参加の3つの視点で若者の活動支援と実践する施設として設置された。若者の自立支援については、センターを拠点に一人ひとりに合ったプログラムの提供および最適な機関への橋渡しや、引きこもりと呼ばれる39歳以下の相談窓口を設け、必要なサポートを行いながら就職決定から定着・安定的な就労までの社会的自立を支援している。本市の若者施策に反映させたい。

### 演劇手法を用いた学校教育の推進(北海道富良野市)

富良野塾は、倉本聰氏が20年以上前に開設し、そのOBが地元に残り、演劇活動を続けていることを市の貴重な教育資源として位置付け、学校教育に取り込んでいく。小中学校を対象に塾生OBが演劇指導を行い、子どもたちは自己表現力、コミュニケーション能力、国語の読解力の向上や思いやり・感謝の心も育み、いじめも無く心の教育にも成果が現れていると聞いた。本市の課題を新たに考えさせられた。



札幌市若者支援センターの取り組みを聴く委員

## 建設経済委員会(5月8日～10日)

### 特産振興と観光行政(鹿児島県指宿市)

観光と農水産業の町、砂蒸し温泉は特に有名である。温暖な気候を活かしオクラ・さつま芋などの栽培、鰹の水揚げ、特に鰹節は国内の3割を生産している。南鹿児島市の近隣市町が一体となって国内外へ誘客販売のトップセールスも行っている。

### グリーンツーリズムの取り組み(鹿児島県口置市)

歴史や自然との調和を活かし、効率的で収益性の高い営農の確立を実現し、市内12か所の有人販売は年商20億円。平成25年からオリブの6次産業化に取り組み、市が栽培・生産を、専門商社が加工・販売を担う。農家民宿は修学旅行も受け入れている。

### 宮崎牛の取り組み(宮崎県)

宮崎県は5年に一度の全国和牛能力共進会で、3大会連続内閣総理大臣賞を受賞した。口蹄疫との闘いを乗り越え、「日本一の努力と準備」を合言葉に、全県一丸の取り組みにより平成29年に4回目の日本一に輝いた。全県一丸の宮崎牛に対する意気込みを強く感じた。



宮崎県庁の前で



## 議会広報広聴特別委員会(7月19日・20日)

### 第31回近畿市町村広報紙セミナーに参加 (毎日新聞大阪本社・インテシオビル)

「読みたくなる」広報紙づくりのノウハウを学んだ。近畿地区等の市町村からの参加であるため、地域の特色を生かした素晴らしい広報紙が勢ぞろいしていた。

講義「特集記事の取材と書き方のポイント」では、次の4点を学んだ。①広報紙づくりで大事な



読まれる紙面作り、`伝わる。写真の撮り方、選び方等を学ぶ

ことは何かを決め、共有することが大切であること。②市民目線に立って作り、読み手は市民であること。③取材は、具体性を求め、記事は20行にひとつ「えっ、へえっ」を盛り込むこと。④署名やインシヤルを入れた書き方を検討すること。

校閲、校正では、全受講者に校正を要する箇所探しの課題も出され、広い知識の必要性を痛感した。

`伝わる`文章の書き方、写真の撮り方など大変勉強になった。

セミナーで学んだことを生かし「読みたくなる」広報紙づくりに取り組んでいきたい。

## 人口減少対策等調査特別委員会(7月11日・12日)

### 神山のまちづくりと創造的過疎対策 (徳島県神山町)

神山町は相次ぐICT企業等のサテライトオフィスの開設で全国的に注目されている。地元小学校に所蔵されていた「青い目の人形」という地元の資産に着目し、その送り主探しから国際交流へと発展させ、国内外から芸術家の滞在を促し「人をつなげ」、「人の輪を広げる」ことで多彩な人材を呼び込んでいる。活動の中心を担っているNPO法人グリーンバレーが取り組む神山プロジェクトは、過疎の町をクリエイティブなまちに変えている。

### 人口減少対策の取り組み(岡山県奈義町)

「このまちは、自然とアートでできている」そんなまちづくりと、奈義町子育て応援宣言による徹底した子育て支援策は、多くの子育て世代を呼び込み、移住定住に大きな成果を出している。アートを軸としたまちづくりと、きめ細かな子育て支援が住民と行政の近い関係の中で実施されており、「子育てするなら奈義町で」という雰囲気と評価を生んでいる。



奈義町議会議長と一っしょに

## 防災対策調査特別委員会(7月11日・12日)

### 防災行政無線の活用(福井県勝山市)

災害などの非常時に緊急放送を伝達するデジタル無線システムで、親局が市役所子局は、市指定避難所を中心として市内63か所に設置されている。勝山市は、防災行政無線に全てを頼るわけではなく、有力な情報伝達手段の一つとして捉えている。電波や風雨の関係で市内全域に放送は入らないため、携帯電話を利用した勝山市緊急メールサービスの利用を促進している。

### 平成30年豪雪(福井県あわら市)

2月4日からの大雪により、5日、23時40分に北陸自動車道が通行止めとなった。それに伴い国道8号の交通量が増加し、坂井市あわら市の10km区間で車約1500台が立ち往生する事態が生じた。

県は、災害対策本部を設置し、自衛隊、国交省、業者が懸命に除雪作業を行ったが、国道8号の立ち往生は9日未明まで続いた。

この体験から、「雪に強い国道8号の整備促進」として、あわら市笹岡から坂井市丸岡町間5・4kmの4車線化を要望している。



勝山市役所で熱心に説明を聞く委員



## 防災対策調査特別委員会(6月25日)

### 土砂災害を防ぐ砂防堰堤(ダム)の取り組み (豊岡市日高町)

市の面積約700km<sup>2</sup>の内、  
林野面積は約550km<sup>2</sup>と約8割を占めている。

地形的にも急峻な溪流箇所が多く、土石流の危険性が高いところも点在している。



砂防堰堤工事について説明を受ける委員

兵庫県施行の、日高町の砂防堰堤工事箇所と設置必要箇所の2か所を視察した。

工事箇所の羽尻地内を流れる細作川は土石流危険溪流で、土石流の被害想定区域には人家、公民館、県道耀山日高線が存在。溪流内は急峻な地形で荒廃が進んでおり、土砂流出の危険性が高いことから、地域住民の生命・財産を守るため、砂防堰堤により土砂災害対策を実施している。

夏栗谷川要望箇所は、転石や倒木が多く、流域の荒廃が著しいため、今後の降雨で土石流の発生により人家、市道等に被害の恐れがあるため、一日も早い工事が待たれる。

今後も地域住民の要望等を聞き、危険な箇所の対策を行い、災害に強い豊岡市を目指し活動していきたい。

## 人口減少対策等調査特別委員会(5月30日)

### 人口減少等が激しい地区の視察(豊岡市内)

人口減少が激しい地区、10代の若者の数が大きく減少している地区など10地区を視察した。その地区の戸数、住民活動、公共交通・空き家の状況等を、同行の市職員や地元委員から説明を受けた。行く先々では耕作放棄地が目立ち、危険空き家があり、スクールバスの停留所にさえもかなりの距離を歩かねばならないなど、生活環境の厳しさを目の当たりにした。そこには厳然と住民が生活し、暮らしがある。その住民の生活・暮らしをどのように守っていくのか行政に突き付けられた課題を再認識した視察であった。

視察を終えた委員からは、市の面積の広大さを再認識する中で現場を見て回ることの重要性、放棄田対策の重要性、消滅しそうな地域をどう残していくのか、他人事と思わず取り組みを進めることの重要性などを実感したという意見が出された。これらを今後の委員会での議論に生かしていきたい。



目立つ耕作放棄地

## 9月定例会のお知らせ (8/31~9/28開催予定) 8月31日(金) 9時30分開会

8月23日(木)	
24日(金)	議会運営委員会
25日(土)	
26日(日)	
27日(月)	
28日(火)	
29日(水)	
30日(木)	
31日(金)	定例会(開会日)
9月 1日(土)	
2日(日)	
3日(月)	
4日(火)	質疑・質問通告メ切
5日(水)	
6日(木)	
7日(金)	
8日(土)	
9日(日)	
10日(月)	一般質問
11日(火)	一般質問
12日(水)	一般質問

- 9月13日(木) 一般質問/予算決算委員会審査①
- 14日(金)
- 15日(土)
- 16日(日)
- 17日(月) (敬老の日)
- 18日(火) 委員会審査(常任委員会)/分科会審査②
- 19日(水) 委員会審査(常任委員会)/分科会審査②
- 20日(木)
- 21日(金)
- 22日(土)
- 23日(日) (秋分の日)
- 24日(月) (振替休日)
- 25日(火)
- 26日(水) 予算決算委員会審査/委員会審査(特別委員会)③
- 27日(木)
- 28日(金) 定例会(閉会日)
- 29日(土)
- 30日(日)

■申込み・問合せ／  
豊岡市議会事務局 ☎0796-2311119

① 定例会(一般質問)終了後に開催します。  
② 総務、文教民生、建設経済の3常任委員会を開催します。  
③ 議会広報広聴、人口減少対策等調査、防災対策調査の3特別委員会は、予算決算委員会終了後または午後1時から開催します。詳しくは、お問い合わせください。

※ 定例会は議場・委員会室で開催します。傍聴にお越しください。  
※ 一時保育(無料)もありますので、希望者は、1週間前までに  
お申し込みください。

# 懇談会・意見交換会 報告

## 総務委員会 7月9日

### よりよい施設管理を目指して指定管理者と懇談

豊岡市立施設のうち、議会の議決を経て団体や企業などが指定管理者となっている施設数は96。

自治会の集会施設や会館などのコミュニティ施設、健康増進施設、社会福祉施設、社会教育施設などのほか、農林関係施設や商工観光関係施設などでは、民間経営の視点やさまざまな工夫により、利用者の拡大や収益性の向上に大きな成果が出ている施設もある。

今回の懇談会のねらいは、指定管理者のみなさんが指定管理を行うにあたり、日頃から困っている点や市への要望・提言などを聞き、指定管理者と委員が懇談することによって、よりよい改善策を見出し、適切な指定管理を目指そうとしたもの。今回懇談を行った団体（主な指定管理施設名）は次のとおり。

- アップかなべ(株)  
(日高町神鍋高原のキャンプ場や体育館など)
- 目坂区奈佐森林公園管理委員会（奈佐森林公園）
- 全但バス(株)（竹野B & G海洋センター、出石総合スポーツセンターなど）
- いろいろの会（住吉屋歴史資料館）



全但バス(株)・いろいろの会との懇談（竹野振興局）

## 文教民生委員会 7月18日

### 地域コミュニティ代表者と懇談

平成29年4月に公民館からコミュニティセンターに移行した。人口減少、少子高齢化対策として、行政主導により地域振興、防災、福祉などさまざまな地域



地域コミュニティの取り組み等について意見交換（日高農村環境改善センター）

課題を解決するための住民自治の拠点施設として位置付けられ推進が図られている。新組織が発足し丸1年が経過したが、市が描くビジョンに対して、現状と課題、特徴的な取り組みについて現場の声を直接聞くために、29地区の会長、代表者との懇談会を開催した。

現状の取り組みとしては、今までの公民館活動・事業の継承がほとんどであるが、中には若者を巻き込んで工夫しながら展開している組織もあった。防災・福祉については、防災リーダーの育成や講演会などの取り組みにとどまっている。

課題としては、交付金の見直し、地域マネージャーの育成と対象年齢の引き上げ、休館日の変更ほか。コミュニティと自治とは別物、これからの方向性が見えてこないなかで本当にやっていけるのかという不安の声も聞いた。

## 建設経済委員会 7月25日

### 中小企業家同友会北はりま支部と懇談

全国組織である中小企業家同友会（以下同友会）は、県下に11の支部がある。北はりま支部の中に但馬全域から多くの若手企業家が参加。今回は8名の若手経営者を迎え懇談を行った。



北はりま支部の皆さんと（本庁舎）

同友会は、社員・顧客・地域になくはならない企業を目指す。「よい会社・経営者・経営環境」の実現を目的とし、経営者の生き様、哲学、戦略を知り、学び授けあう。経営は自己責任であり行政等に頼らず、自分たちで困難を乗り越え前進する。仲間と知恵を集め協力する中で課題をクリアする姿勢に共感を覚えた。若手企業家として一層の発展を期待したい。

### 但馬漁業協同組合と懇談

但馬漁業協同組合は但馬地区4漁協が経営基盤の強化、事業の総合的展開を目指し、平成19年に合併。資源の枯渇、船舶の老朽化、漁業従事者の不足など、現状は深刻である。漁業は、豊岡市と香美町の連携を図り全体として考えることが必要と感じた。2年前に開発された翅の魚醤は好評であり「儲かる漁業」を目指し日々健闘されている。

# 3月定例会の委員会審査における 委員会意見と当局回答



## 高規格道路開通における道路整備等

現在、日高道路から（仮称）豊岡南インター及び（仮称）豊岡インターへの整備事業が鋭意進められている。命の道としての早期整備は多くの住民が強く望むところである。

一方、当該道路整備による市街地への交通環境が国道426号接続に伴い、豊岡病院線の交差点付近における交通渋滞や学校施設が多く集積されている市街地北西部への流入による児童・生徒等への通学上の安全確保が懸念されている。

今後、交通量実態調査等に基づく周辺交通環境のあり方について、生活道路への影響等も勘案しながら住民の安全確保最優先で対応策の検討をすべきである。  
**(予算決算委員会)**

 北近畿豊岡自動車道の整備に伴い、インターチェンジへのアクセス道路や市街地の交通環境が大きく変化することが予想され、市としても重要な課題と認識している。特に学校施設周辺や住宅街など生活道路への影響が懸念される。

国道426号の上陰から下陰地内など、既に県による歩道整備事業が進められている区間もあるが、これらの課題については、国や県と連携し対応策を検討していきたい。  
**(建設課)**

## 木質ペレットの利用促進

バイオマス構想の下、国等の多額の補助金を使い豊岡産ペレット生産拠点として、(株)豊岡ペレットを立ち上げたが、近年の需要は、当初の需要見込みを大きく下回り、悪化の状況にあると伺える。

バイオマス事業の一環として始められた事業であるが、当市のバイオマス構想について総合的に勘案し、早急に改善策を出すべきである。  
**(予算決算委員会)**

 ペレット需要の回復にあたっては、特に消費用量の大きい温泉施設等ペレットボイラーでの利用増について、各施設管理者への働きかけを強める。

他方、(株)豊岡ペレットの経営改善については、年間需要量を短時間で製造ストックする中から販売していくことで、電気料金等の製造コストを縮減する製造工程への移行を提案する。また、公認会計士からの提言を受けながら、ペレット需給の現状を見据えた経営体系への助言や指導等を引き続き行い、経営の適正化に向けた支援に努める。  
**(農林水産課)**

## 地域経済の活性化

財政力の脆弱な本市にあって、地域経済の活性化は喫緊の課題である。そのためにも、地方創生事業に関連する内発型の産業育成は地域経済を支えるうえで重要な課題である。

新年度事業において、商工会議所、商工会や観光協会など関係団体と連携する中でKPI（重要業績評価指標）など効果指標等の設定と併せてチェック、フォローする仕組みの構築が必要と考える。  
**(予算決算委員会)**

 平成30年度、関係団体や事業者に参加を願い、内発型産業育成に向けた「戦略体系図」を作成する。

その作成過程において、評価指標の設定や評価の仕組み、具体事業の絞り込みについて検討する。  
**(環境経済課)**

## こうのとりに育むお米の海外販売促進

オーストラリア Fine food Australiaへ出店をすることとなっている。世界に広める必要性は感じるが、事前の現地調査等が十分にできているとは言い難い。

実施にあたっては、準備及び販売見込みを立て慎重に進められたい。  
**(予算決算委員会)**

 見本市「Fine Food Australia」での販売促進が円滑に行えるよう、事前に現地調査を実施する。

- 1 とき：平成30年5月16日～22日
- 2 ところ：シドニー・メルボルン
- 3 内容：豊岡市職員、現地コーディネーター（H30年度豊岡市委託）、本邦側の輸出事業者と共に以下の調査を行う。

- (1) 小売店の価格、商品構成等
- (2) 飲食店（和食）の日本産米使用状況について飲食店関係者へのヒアリング。コウノトリ育むお米の提案
- (3) 商物流構築に向け、現地事業者数社（輸入卸、商社）へコウノトリ育むお米の提案、販売計画
- (4) 農林水産省日本食普及親善大使との面会
- (5) Fine Food Australia会場視察

- 4 展開の考え方：商社（Vox Trading）を輸入元にした場合、すべての卸売会社が販売先となれる。1つの卸売会社を輸入元にした場合、そこ以外の卸売会社は扱えなくなる（競合回避のため）。現在、本邦側の輸出事業者の意見を踏まえ、現地コーディネーターと調整中である。  
**(農林水産課)**

# その後どうなった?!



常任委員会や特別委員会は、議案などを審査し、その可否を決定します。その審査の過程で、市当局に対して意見や要望を付すことができます。

それに対して、市当局は指摘の内容が妥当であるか、要望が実現できるかなどを検討し、次の定例会の際、報告することになっています。

これは、議会でもまとめられた意見が、単に一方的なもので終わってしまわないよう、市当局と議会が議論のキャッチボールをしながら市政運営を行っている取り組みの一端です。

## 敬老会補助金廃止に伴う代替3事業

「ふれあいいきいきサロン」は社会福祉協議会への補助金、「玄さん元気教室」と「高齢者安心・見守り活動」は自治会等への奨励金として扱われ、奨励金については、用途にこだわらないとされた。

3事業は、いずれも自治会等での活動を対象としているが、「ふれあいいきいきサロン」を社会福祉協議会の事業補助金として扱うことは、これまで社会福祉協議会が行っていた事業であるとしても、他の2事業と異なる扱いに違和感が残る。

また、「高齢者安心・見守り活動」奨励金の支給要件である、75歳以上の人数による5段階の定義には、不公平感を強く感じる。

さらに、自治会などが行う申請手続きの煩雑さが伺え、問題点を残すところである。

よって、これら3事業の31年度以降の実施にあたっては、これまでの敬老会の有効性に配慮したうえで、初年度の状況を十分に、正確に受け止め、地域の実情を考慮し、実施区の申請手続きの簡素化を図るとともに、極力しばりを排除して柔軟に取り組める施策とするなど問題や課題を取り除いた内容に改善されたい。

なお、当該施策の取り扱いについては、各区長等に対して丁寧に説明を行うこと。

(予算決算委員会)



奨励金としたのは、地区の申請手続きをできるだけ簡素化し、(奨励金)用途の柔軟性を確保するためである。

今年度の奨励金の区分・金額は、区長連合会とも協議し、決定しているもので、対象となる高齢者の少ない地区にあっても活動に取り組んでいただけよう配慮したものである。

31年度以降の実施にあたっては、今年度の活動状況を踏まえる中で、運用方法を整理し、柔軟で活動しやすい制度となるよう必要な改善をしたい。

奨励金の申請者となる区長に対しては、関係書類(奨励金内容、申請書類、Q&A)を配布するとともに、地域区長協議会において活動内容と申請書の記載方法の説明を行い、相談があれば個別に対応している。

また、民生委員児童委員連合会理事に対しても地区の見守り活動への協力をお願いしている。

(高年介護課)

## 29地域コミュニティ

29の地域コミュニティが設立され、1年が経過しようとしている。各地域コミュニティの取り組み等の情報を共有し、研修会や事例発表もなされているが、一括交付金のあり方、人材育成等において、地域格差が生じているように感じる。

本庁のみでなく、各振興局とより一層連携を図り、将来を見据え、地方創生の柱でもある地域コミュニティの構築に努め、地域活性化のさらなる推進を図られたい。

(予算決算委員会)



一括交付金等の財政的な支援については、組織が立ち上がって間もないことから、概ね3年間の決算状況を確認しながら検証し、必要があれば改めることとしている。

地域性や人口規模も異なる29の地域コミュニティでは、その地域が抱える多様な地域課題の解決に向け、それぞれの地域の実情や特性に合わせた29通りの取り組みが展開されている。

今年度はそのような取り組み状況に対する支援の一つとして、「地域振興」、「地域福祉」、「地域防災」、「人づくり」等のテーマ別研修を開催する予定である。地域の関心が高く、地域課題にあったテーマ別研修への参加を促し、共通の課題を抱える組織間での意見交換の場を設け、専門家からの助言を受ける等、組織間の交流・情報共有による意識の高揚を狙いとしている。

人材育成については、モデル地区を選定し、各振興局と連携を取りながら、地区の実態把握をする中で、望まれる人材とその育成を研究し、他地区に事例・取り組みを共有する。(コミュニティ政策課)

## 高齢者生きがい創造学院

中心市街地の活性化、賑わいの創出を視野に入れ、土地及び建物を取得し、施設の整備を行うものであるが、高齢者生きがい創造学院以外の利活用についても十分検討され、生涯学習サロンとして、中心市街地の活性化に結び付くよう具体的な費用対効果について検証されたい。

(予算決算委員会)



豊岡駅通商店街振興組合と中心市街地の賑わいの創出方法について検討を進めている。

生涯学習サロンの整備及び運用にあたっては、多くの市民に利用され、中心市街地の賑わい拠点として機能するよう努めるとともに、効果が検証できる指標について検討する。(生涯学習課)



いい湯だね～  
ドラム缶風呂!

まちの  
Smile  
&  
Genki  
スマイル  
げんき

■川の中で思いっきりあそぼう!(出石 谷山川)  
いかだ  
筏くんだり、生きもの探し、マスのつかみ取り…



海へdive!

「ヤッチャ ヤッチャ  
ヤッチャ ヤッチャ～」

■柳まつり 豊岡おどり



■太陽サンサン海キャンプ!  
(竹野 青井浜)  
太陽をいっぱい浴びて海を満喫!!



■「植村直己に学ぶ」サバイバル体験キャンプ  
11名の小学生が7泊8日で約67kmの行程(日高～村岡～小代～日高)を完歩!!



■神鍋火山祭り  
がっ祭 踊るんだしけえ～そうだろよさこい～



### 議会広報 広聴特別委員会

- |       |       |
|-------|-------|
| 委員    | 委員長   |
| 上田 倫久 | 村岡 峰男 |
| 足田 仁彦 | 石津 一美 |
| 井上 正治 | 清水 正寛 |
| 副委員   | 委員    |
| 松井 正志 | 〃     |
| 〃     | 〃     |
| 〃     | 〃     |
| 〃     | 〃     |

▼議会広報広聴の委員となり、一年近くなりました。

毎日が勉強の日々ですが、豊岡市議会としての活動などを市民の皆さまに身近に感じていただけるようにお伝えしていきます。ご意見・ご要望をお聞かせください。(いしづひとみ)

▼今回は、広聴活動としてアンケートを実施しました。市民の皆さまの声を真摯に受け止め、一層充実したものにしていきます。

また、「議会だより」のレベルアップを図るため、「近畿市町村広報紙セミナー」に参加しました。読みたくなる「広報紙」になるよう努力します。(うえだみちひさ)

### 編集 後記

### おめでとうございます

全国市議会議長会 青山 憲司 議員  
議員 20年以上表彰  
兵庫県自治功労 椿野 仁司 議員



椿野 仁司 議員 青山 憲司 議員

